

議員の顔写真横の2次元コードから、一般質問の動画を視聴できます。



録画配信の
2次元コード

大沢 えみ子

日本共産党

置き配BOXの設置補助を ／動物愛護条例

◆置き配BOXの設置補助

Q 環境面やドライバー不足が問題となる中、置き配BOX等への補助を実施できないか

A 環境経済部長 宅配ボックスの普及は、環境政策上においても有効であると認識しており、令和8年度から、狭山市クリーンエネルギー推進補助制度のメニューの一つとして、集合住宅への宅配ボックス設置に対する補助制度を新たに加えたいと考えている。

◆動物愛護条例

Q 多頭飼育などが問題となっているが、狭山市内のペットの飼育状況、トラブル事例、殺処分の状況は

A 環境経済部長 犬の数は7,350頭。鳴き声による騒音、猫の外飼いに伴うトラブルや多頭飼育などの相談がある。令和6年度の県内の殺処分数は、犬26頭、猫15頭。

Q 殺処分を減らすことや、多頭飼育問題の解消に向け、「動物愛護条例」を作る考えは

A 環境経済部長 条例策定には、県との役割分担や市民への影響など、多くの点を慎重に検討する必要もある。先進自治体の事例も参考にしつつ、課題について必要な検討を重ねていきたい。



録画配信の
2次元コード

菅野 淳

創造

七夕まつり・花火大会、持続可能な運営体制で

◆2年ぶりの花火大会開催で大きな賑わいに

Q 入間川七夕まつり・花火大会は、狭山市の「ブランド力」や「観光資源」としての価値を高め、さらには伝統の継承、郷土意識の醸成、地元への誇りを育てる源泉となっている。だが2024年は花火大会が中止になり、そして今年、再開を求める声が大きくなり、それを受け6月議会の一般質問で開催の可能性について質問したが、その時点ではまだ決まっていないことが多かったので、今回、その成果について改めて聞いてみた。今回の七夕まつりは

A 環境経済部長 2年ぶりとなる花火大会を実施したこともあり、大きな賑わいとなった。警察署や警備事業者、関係団体などの協力により、安全管理や会場誘導も適切に行われた。

◆花火大会での燃えかすの苦情ゼロ

Q 昨年の中止を踏まえ、今年はどんな対策を

A 環境経済部長 打ち上げ場所をもとに戻し、花火玉を2.5号玉に変更することで、燃えかすに対する苦情は一切無かった。また、警察の指導のもと新富士見橋を車両通行止めにできたことで来場者の安全確保に結びついた。

◆担い手・資金確保が鍵に……

Q 持続可能な花火大会のための今後の課題は

A 環境経済部長 運営の担い手・資金の確保をはじめ、様々な分野で多角的な検討を進め、持続可能な運営体制の構築に取り組んでいく。



狭山市のブランド力…七夕まつり